

2019年6月29日(土) 玉や(木曾岬)

5人グループで

中潮 旧5月27日 常滑; 満潮02:41(193cm) 干潮09:25(56cm) 満潮16:01(183cm)

キス(20cm~ピンギス、18・19・20cm各1尾) 自分36尾 ツレ63尾

メゴチ キープサイズ3尾

5時15分 玉や着

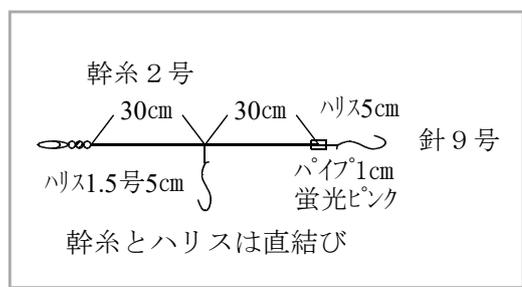
6時00分 出船

9時25分 干潮(常滑56cm)

13時10分 納竿

【仕掛け】

キス; 自作仕掛け 全長65cm おもり 12号
のませ釣り; 自作仕掛け おもり 15号
全長 70cm ハリス2号
鼻掛け用鉤・孫鉤 伊勢尼11号



【料金】 ¥7,500 (消費税8%込み)

石ゴカイ(約3ばい半)付き

【様子】

- 早くから予約を入れたが、呼ばれたのは3番目だった。右舷大艫から2番目3番目と順番に並んだ。
- 一日曇り、風少々。暑くもなく雨もなく、ちょうどよい。
- 釣りを終えてみると、かなり日焼けをしていた。曇り空でも紫外線は強いということである。この季節は曇りでも紫外線対策が必要だ。
- 今日は終日、南知多ビーチランド沖で釣った。
- 「海底には藻が多い。当たらない、釣れないと感じたら、仕掛けを回収する。藻が鉤に掛かっている。藻が掛かっているとキスは釣れない。」と船長からのアナウンス。実際、その通りだった。
- メゴチが多い。小さな当たりはメゴチである。当たらないのに餌がないということもしばしばあった。小さな魚がついばんでいるのだろう。
- ツレは、初め、他の人が釣れているのにまったく釣れなかった。誘いを入れてなかったとのこと。私は5尾ほど釣っていた。私にどうやって釣っているか聞いてきた。誘いを入れていと伝えた。誘うようになってから釣れ始めた。
- ふと気づくと、ツレは私と同数の18尾を釣っていた。そして、あっという間に抜かされていった。
- 後半、ツレは入れ掛かり状態。結局、ツレとはダブルスコアに近い結果となった。
- ツレの誘いが今日のキスに合っていたのだと思う。
- ちなみに、今日は、誘いを入れないうり方をしていた人は、貧果だった。
- のませ釣りでは、小さなメゴチを餌におもり15号で置き竿で釣った。おもりを底から少し上げておいた。残念ながら、一度も当たりはなかった。

【ツレの釣り方】

<風と潮の関係で仕掛けが船底に入っていくとき>

- ①仕掛けを正面、沖に投げる。着底後、糸ふけを取る。
- ②チョンチョンと誘いを入れ、糸ふけを取る。(→ 当たりがある。) 道糸が緩むので、誘いを掛けたらすぐに糸ふけを取る。

③当たらないときは、しばらく待つ。

仕掛けが戻ってくるので、道糸を張るようにリールを巻いていく。

④チョンチョンと誘いを入れ、糸ふけを取る。(→ 当たりがある。)

⑤3回くらい誘いを掛けると、仕掛けが足下まで来る。餌のチェックをする。

<風と潮の関係で仕掛けが船から遠ざかる時>

①仕掛けを沖に投げる。着底後、糸ふけを取る。

②チョンチョンと誘いを入れる。(→ 当たりがある。)

仕掛けが船から離れていくので、誘いを掛けても糸ふけは出ない。

③当たらないときは、しばらく待つ。

仕掛けが離れていくので、道糸が張っている。

(ベールを倒して道糸を出したときもあったとのこと。)

④チョンチョンと誘いを入れる。(→ 当たりがある。)

⑤当たらないければ、餌のチェックをする。

※着底後、1回目・2回目の誘いで当たるが多かった。

※小さな当たりで回収するのではなく、確実に掛かっていることが分かるまで待っていた。

これにより、メゴチとのダブルが結構あったし、キスのダブルも数回あった。

【私とツレの誘いの違い】

○ツレはチョンチョンと誘いを2回入れる。自分はチョンと誘いを1回入れる。

○今日は2回入れることが、誘いとして合ったのだと思う。

○後半の後半、誘い方をツレに教えてもらった。誘いを2回入れてみた。この時、仕掛けが戻ってくる時にだったので、誘いの後、道糸を張るのが遅く、当たっているなど感じたが、鉤掛かりしなかった。2~3回あった。しばらくして、あれはキスの当たりだと分かった。時、すでに遅し。納竿の時間となった。

○以前から、ツレが釣れる時間帯と私が釣れる時間帯にずれがあると話していた。誘い方の違いが原因の一つだったかもしれない。

【メゴチが多いとき】

○メゴチの当たりが分かるので、メゴチが掛かったなと思ったときは、仕掛けを回収していた。

○しかし、これでは時間の無駄である。2本鉤仕掛けであることから、メゴチの当たりがあっても、そのまま、誘いを掛けたり、待ったりした方が効率が良かったであろう。

【藻が多い、餌取りが多いとき】

○藻が付いていると釣れない。

○餌取りが多く、餌がなくなる。餌がなければキスは釣れない。

○誘いをかけるなどしても当たらないと感じたら、餌の点検をする。

○今回は、メゴチもキスも活性が高かった。メゴチかキスがいれば、当たりがある。

○当たらないのは、当たりの分からない餌取りに餌を取られているか、藻がついているかということ。

【次回】

○誘いを入れすぎても釣れないことがある。誘いを入れないと釣れないことがある。

・誘った方が良いとき、①竿先をチョンと1回あおる。②竿先をチョンチョンと2回あおる。

・誘わない方が良いとき、①誘いを掛けない。②誘いを掛ける間隔を十分に取る。

○メゴチが多きとき

・メゴチの小さな当たりがあっても、餌が2つあることから、すぐに回収しない。2つ目の餌でキスを釣ることをイメージする。

・メゴチの小さな当たりがあったときは、メゴチが餌から離れるように、仕掛けを頻繁に動かしてみる。